

## 沖縄でのデジタルアーカイブ(教育リソース)の 利活用・還元・運用の実践研究について(2010～2019)

後藤忠彦、眞喜志悦子(岐阜女子大学)

岐阜女子大学が、沖縄での「利活用・還元・運用」の実践研究を沖縄の多くの協力者の支援で始めたのが沖縄女子短期大学の好意で同校内に沖縄サテライト校(学部編入・大学院)を設置した。

### 1. 沖縄でのデジタルアーカイブの利活用

沖縄と岐阜女子大学の関係は、2000年の木田宏先生の支援で本学が中心になり、全国の関係大学等と連携し、衛星放送(CS)、テレビ会議システム、テキスト等を使った遠隔教育(教員の専修免許取得講座)で沖縄に遠隔教室の設置・実施し、その後、沖縄との各種遠隔教育を進め、2010年に沖縄サテライト校を設置するに至った。また、2000年ことから、沖縄県の多くの協力者によって沖縄の地域文化資料のデジタルアーカイブ化が進められてきた。(なお、後藤と沖縄の関係は1990年頃に向山小学校(当時仲本實先生)との教育情報化のプロジェクト研究での参加が始まりで、その後、共同研究を進めてきた。)このような背景のもと、デジタルアーカイブの利活用・還元・運用についての次の二つの共同研究を始めた。

#### (1) 「沖縄おうらい」(観光デジタルアーカイブの開発とその活用)

加治工等が2000年頃から収集してきた沖縄の地域文化資料、オーラルヒストリー等を用いて、観光用のデジタルアーカイブ“沖縄おうらい”を開発した。その試行研究として、高等学校の修学旅行で毎年1万名以上がこの10年間活用し、その還元情報を得て加藤がその改善を進めてきた。

#### (2) 沖縄の小学校の学習指導・学力の向上に活用

沖縄県は、2013年まで、毎年全国学力・学習状況調査で最下位であり、この課題の解決で毎年先生方は努力されてきた。2012年当時、長尾順子先生を始め多くの方々がその改善方法の検討をされていた。

そこで、岐阜大学や学習システム研究会等で1967年～1980年頃までに収集され2005年頃から岐阜女子大学でデジタル化した教育実践研究資料を用いて、2012年から後藤が学力向上(学習指導力の向上)の課題の解決に活用できないか、試行を始めた。

その分析・解析結果から、

**「発問、確認、グループ全体での話し合い、教師と学習者のコミュニケーション、繰り返し学習、言葉の育成、授業の構成」**

についての各項目について望ましい資料を見出し、関係者に提供した。

## 第1ステップ

これを一度に先生方に提供しても実施困難であり、この中から「発問・言葉」についての資料を長尾(県指導主事)、岐阜女子大学の佐々木恵理、眞喜志悦子や多くの大学院生等の協力で小学校の先生方が活用できる手引書の作成・実践・活動を進めた。(言葉の教育については、長尾が博報堂の第9回児童教育実践についての研究助成事業の支援を得た)

## 第2ステップ

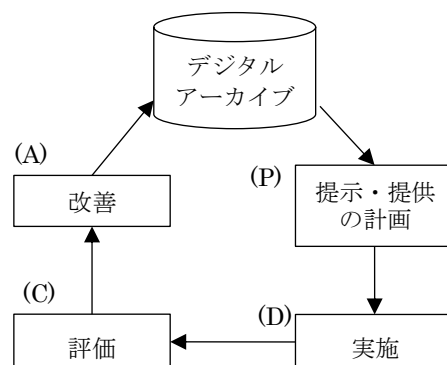
2013年～井口(教頭・院生)は小学校で繰り返し学習、宮城(教頭・院生)は小学校で全項目の実践指導を両校の全教員の協力で始めた。

## 2. 実践の結果と改善

### (1) “沖縄おうらい”の還元情報の整備と改善へ

2011年～毎年約1万名以上(計10万名)の利用者があり、その中から活用結果の報告を受け、改善を進めてきた。その還元情報は多様な内容であり、これらを図のように還元情報をフィードバックし、評価・改善に役立てている。

また、観光用のデジタルアーカイブも開発で終わっては活用されず、いかに活用の展開を支える広報・活用支援を始め運用方法の開発研究・実践をするかが重要である。



提示・提供のPDCAによる評価システム  
(2010年から沖縄で試行)

### (2) 学習指導・学力の向上での課題の解決でのPDCA

実践研究校の2校の結果は、図に示すように大きく学力の向上が見られた。この方法の手順としては、次のようであった。

①活用計画……課題を見つけ、検索、抽出、解析のための項目を見出し、各項目の解決方法を決める。

(i) 課題を見出し、関連資料をデジタルアーカイブから検索・抽出し、どのような項目で課題が構成されているか調べる。…サーチャーの役割

(ii) 各項目について、関連資料を検索・抽出し、その内容を分析・解析し、望ましい方法を見出す。

(iii) 見出した解決に関する内容を広く利用者に理解・実践できるように説明(手引き等)の作成・提供

(デジタルアーカイブ・コーディネーター: DACの支援が必要)

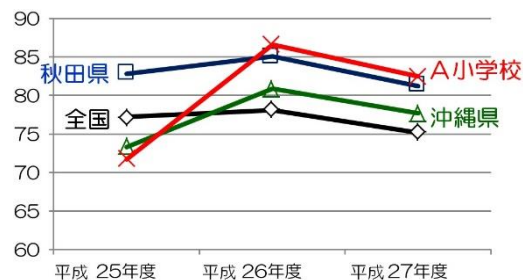
②実施……活用者の研修と実践

実施にあたって、手引きの解説、実践例紹介、実施指導、実践へ

③実践結果の調査と評価 (DAC)

④評価をもとに、よりよいものへの改善と再保管 (DAC)

今後、いろいろな分野でこのようなデジタルアーカイブ・コーディネーターに該当する人材の活躍があって、有効な活用が可能になる。(今回は、長尾・宮城・井口・佐々木・眞喜志・後藤等がこのデジタルアーカイブ・コーディネーターの役割を担当した。)



不登校0名(800名中)  
(一人ひとりの児童を丁寧に指導した)

	全国平均	沖縄平均	沖縄順位	(参考※) B校順位
国語A	70.0	69.3	32	22
国語B	65.4	67.3	13	4
算数A	75.2	77.7	6	3
算数B	45.0	44.7	26	4
理科	60.8	59.0	43	1
総合	63.28	63.60	20	4

※B校の順位はB校を全国48番目の県とした場合の順位である。

要保護・準保護家庭 47%の経済的に厳しい地域